

指導救命士がP D C Aサイクルを 回すために

～事後検証結果を再教育に活かす～



大阪府泉州地域M C協議会
(和泉市消防本部)
山崎 泰宏

大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会

• 大阪府泉州二次医療圏

- 市町村：12市町（8市4町）
- 人口：約89.0万人
- 圏内三次医療機関：2機関
- 圏内二次医療機関：31機関
・(精神科系7機関含む)

• 大阪府泉州地域MC協議会

- 会長
 - ・ りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター
 - ・ 副病院長兼救急診療部長 松岡 哲也 先生
- 構成消防本部
 - ・ 泉大津市消防本部 和泉市消防本部
 - ・ 忠岡町消防本部 岸和田市消防本部
 - ・ 貝塚市消防本部 泉州南広域消防本部
 - ・ (※高石市は堺市消防局管轄)



事後検証対象と体制（平成23年11月開始）

活動検証

- CPA症例
- 重症外傷症例

従来の検証対象

救急隊員の活動検証

実施基準検証

- 搬送困難症例
(医療機関選定5件以上もしくは
覚知から病院到着まで60分以上)
- 特定病態症例
(脳卒中・消化管出血)

検証対象

実際現場で起こっていることの検証

- ・ 救急隊員の医療機関選定の問題？
- ・ 救急隊員の伝達内容の問題？
- ・ 医療機関の受入れ体制の問題？
- ・ そのものの医療体制に問題？？

検証結果…各消防機関毎に実施

救急指導体制検討ワーキング（WG）の設置

指導的立場の 救急救命士による 救急指導体制検討 ワーキングの設置



- 組織
消防部会の下部組織に位置づけ
- 会議の開催
毎月1回、検証会議後や研修会時
- 構成メンバー
各消防機関から1名の計6名
他機関・他業種の参加なし

救急隊員に周知する場



救急救命技術研修会

- ・ 各消防本部の指導救命士主導で内容決定
- ・ 検証会議で疑義事案を訓練想定として実施

症例検討会

- ・ 指導救命士WGが主導で症例内容を決定
- ・ 検証会議で疑義事案を症例として発表



プロトコル改正案の作成

プロトコル改正案の作成

改正方法及び内容

- ・ 指導救命士WGが地域MCから委託
- ・ 検証会議で議事録の内容を反映
- ・ 地域MCで運用中の口頭指導プロトコル
- ・ 地域のローカルルールを含めた改正

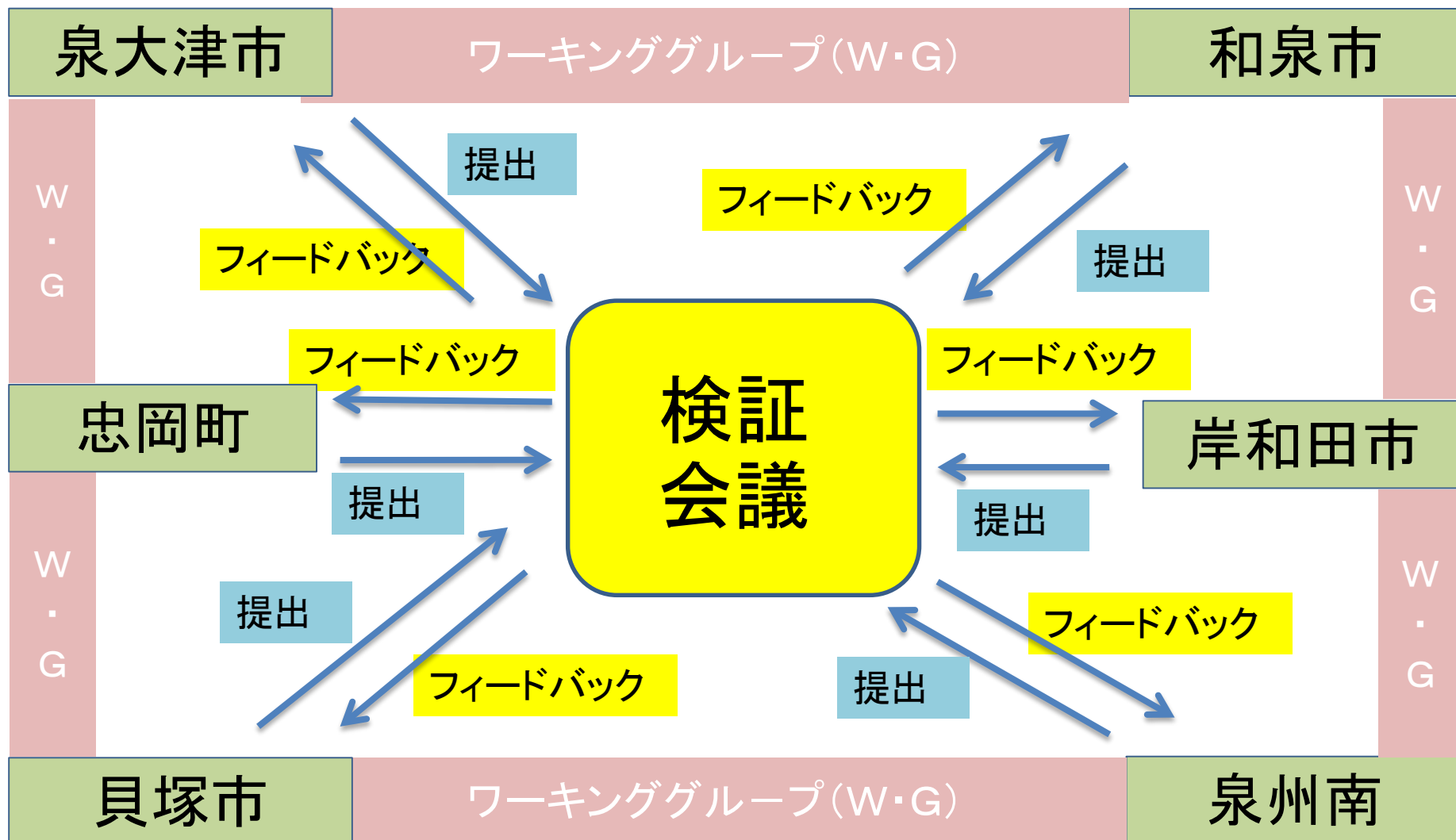
泉州版・心肺蘇生のプロトコル 2018

泉州地域メディカル・コントロール協議会 編

【目 次】

I 泉州版・心肺蘇生のプロトコル 2018 について	2
II 心肺蘇生～救急活動の基本的考え方～	3
1 心停止の迅速な判断	3
1-1) 意識指令での心停止の判断と口頭指導	3
1-2) 胸骨圧迫による心停止の判断	3
2 有効な胸骨圧迫の継続	3
3 電気ショックの適応の迅速な判断と実施	4
3-1) 初回の ECG チェックのタイミング	4
3-2) ECG チェックの方法と注意点	4
3-3) 未就学児への AED 使用について	4
III 一般的注意事項	6
IV 心肺蘇生のプロトコル	7
V 気管挿管(ビデオ機器使用例を含む)のプロトコル	9
VI 静脈路確保のプロトコル	9
VII 薬剤投与(アドレナリン投与)のプロトコル	11
VIII	11

事後検証結果を共有し平準化



結 語

- 検証会議で問題があるとされた症例を共有する場の必要性
- プロトコルへの早期反映の必要性
- 事後検証結果を共有し平準化

更なる改善を目指し

- 消防がMC体制を強化できる体制の構築
- 指導WGの更なる活用

